電通共済生協第 74 回通常総代会ダイジェスト 第 50 期事業報告&第 51 期事業計画等について

開催日:2016 年 10 月 20 日(木) / 開催場所:東京/ホテルラングウッド

1 第50期 (2015年8月~2016年7月) 事業報告

2016年4月14日および16日の2度にわたり震度7を記録した熊本地震は、生協組合員に甚大な被害をもたらしました。電通共済生協は早期の共済金支払と「特別措置」の実施など職域生協として許される最大限の対応を行なってきました。また、「働く仲間の相互扶助を基本とする電通共済生協グループ事業の推進により、助け合い・支えあい〈安心・安全〉の充実」を図るメンバーシップの福祉事業を積極的に展開してきました。

加入状況・共済金支払状況等

電通共済生協の組合員数は352,225人で、その内退職組合員数は130,490人であり、生協組合員全体の37%を超え2020年には40%に達する状況となっています。

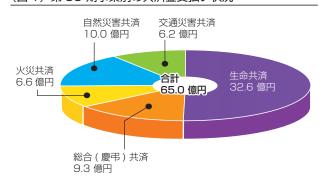
生命共済においては年齢掛金変更時の掛金調整による 減口などの影響で減少傾向が続いています。また火災共 済についても東日本大震災直後は、自然災害に対する保 障意識の高まりから一時期は微増となったものの、今日 では減少傾向にあります。

結果として第50期の受入共済掛金収入は、121.8億円となり、事業目標 121億円を確保することができましたが、その内容は、契約口数は減少したものの、自然災害共済の掛金改定による増収が大きく影響しています。

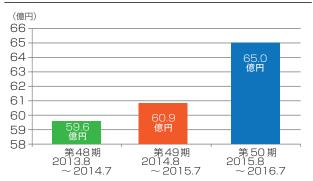
第50期の支払共済金については65億円(図 1)をお支払いし、前年比で4億600万円増加(図 2)しました。その主な要因は、2016年の熊本地震や異常気象に伴なう自然災害による支払額の増加によるものです。

今後も引き続き生協組合員・ご家族の皆さまの安心・ 安全を支えるメンバーシップの電通共済生協としての 役割を発揮してまいります。

(図1)第50期事業別の共済金支払い状況



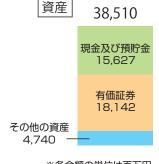
(図2) 第50期 支払共済金の推移



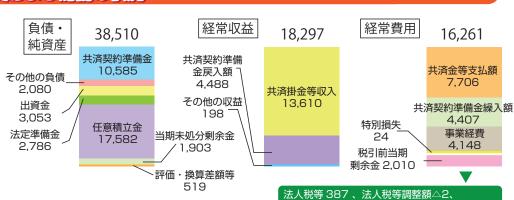
当期剰余金 1,626、当期首繰越剰余金 276、

当期未処分剰余金 1,903

2 事業収支および財務の状況



※各金額の単位は百万円



経営指標

第50期の修正自己資本比率82.4%、支払余力比率(新基準)1,354%となり、健全性、安全性は高い水準にあります。

- (注1) 消費生活協同組合法施行規則および消費生活協同組合施行規程にもとづいて算出しています。
- (注2) 第49 期より支払余力比率の新算出基準を適用しています。
- (注3)生命共済事業と損害共済事業の両方を実施しているため、生命保険会社または損害保険会社のソルベンシーマージン比率と単純に比較できません。

3第50期剩余金处分居之以远

利用分量割戻しについては、2016年7月31日現在の有効契約に対し、次の基準で実施することを2016年10月20日の通常総代会で決議します。なお、利用分量割戻しは、生協組合員の出資金に振り替えることとします。

①火災共済 ②生命共済

(1 口あたり (1 口あたりの割戻単価)

の割戻単価)

	木造	耐火 (鉄筋)	本人契約・配偶者契約								
			~ 35 歳	36~45歳	46~55歳	56~60歳	61~65歳	66~70歳	71~75歳	76~79歳	
Ī	9.6円	4.8円	126円	147円	217円	315円	483円	1,134円	1,869円	2,919円	84円

4 第51期事業目標 (2016年8月~2017年7月)

電通共済生協発足50年を新たな飛躍の節目と 捉え、労働組合・退職者の会と連携し、「相互扶助・助け合い」を理念とする職域共済のメリットを訴求した事業を積極的に推進していきます。また、生協組合員・ご家族の「安心・安全」の充実に貢献するとともにグループシナジーの発揮とICTを活用した働き方の見直し、ガバナンス、コンプライアンス・リスクマネジメントの強化による信頼とブランドカの向上を目指します。第51期事業目標と第一次第個目標をは、第51期事業目標とは、第51期事業目標をは、第51期事業目標とは、第51期事業目標をは、第51期事業目標をは、第51期事業目標をは、第51期事業とは、

東日本大震災、熊本地震の経験を教訓とした「備えの大切さ」を訴求するとともに、復興支援と風化させない取り組みを推進します。

カJ 樹 事未日 版								
共済種目		目標口数等	受入掛金目標					
総合(慶弔)	共済	218,000人	13億1,500万円					
# \ + \	本 人	878,000□	33億6,100万円					
生命共済	配偶者	176,900□	6億7,500万円					
(現職組合員)	子ども	49,900□	6,100万円					
+ △+☆	本人	117,500□	13億3,500万円					
生命共済 (退職組合員)	配偶者	42,500□	4億1,100万円					
(赵珮和口貝)	子ども	2,500□	300万円					
火災共済		29,425,000	22億3,700万円					
自然災害共	済	14,575,000□	16億9,900万円					
交通災害共	済	2,128,800□	11億0,300万円					
5共済受入共流		_	122億0,000万円					
受託共済等手	数料	_	7億4,500万円					

5 在会員或話動

情報労連が東日本大震災からの復興・支援の取り組みとして主催する「2016情報労連統一ボランティア(活動場所:福島県南相馬市小高地区)」、環境問題に対する意識を高めるために実施する「全国環境一斉行動(2016年5月21日を中心に各県で実施)」などに支援・協賛しました。



南相馬市における避難生活者への帰宅準備支援



全国環境一斉行動

6 50周年記念 「おりがとう50年をかからも」 事業

電通共済生協は、1967年4月7日に事業を開始し、第51期中に50年の大きな節目を迎えます。今後も電通共済生協グループとしてのミッションを果たすべく、生協組合員・ご家族の福祉の充実に貢献するため、未来志向に立ったメッセージの発信を行い、「ありがとう50年これからも」キャンペーンの実施(現職組合員:2016年秋・退職組合員 2017年春)・50周年記念誌の発行・ホームページのリニューアル・社会貢献活動の充実と支援・共済制度の見直し等の事業を行ないます。

